

平成 29 年 7 月 13 日

鉄道建設・運輸施設整備支援機構
理事長 北村 隆志 殿

鉄道助成業務の審査等に関する第三者委員会
委員長 杉山 雅洋

鉄道助成業務に関する改善意見

これまで提言してきた改善意見について、平成28年度も適正に遂行されていると評価している。鉄道助成業務のさらなる充実・強化のため、以下の意見を提出するので、着実に実施されたい。

記

(1) 鉄道助成業務の適正かつ効率的な執行

事前の補助金審査計画の策定、各審査担当者間の情報の共有により、鉄道助成業務の適正かつ効率的な執行に一層努めること。また、現地審査に当たっての審査日程の設定、人員等の配置の効率的な実施に努めること。

(2) 鉄道事業者等への助成制度の浸透に向けた取組み

助成制度に関する情報提供と共に、助成制度に対する質問等を受けられる仕組みの構築を検討するなどにより、助成制度の浸透を図ること。

(3) 第4期中期計画を策定する上での鉄道助成業務への適切な配慮

これまでの鉄道助成業務の経緯を踏まえ、鉄道助成業務の適正かつ効率的な実施が業務活動に徹底されるよう次期中期計画の策定に当たって、十分配慮すること。